盗難発生警報装置

国産 12V/24V 車対応

取扱説明書

JAAMA VAS 004-003

全国自動車用品工業会 自主基準登録商品



この度は、KUJINをお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ正しくお使いください。

この取扱説明書は必ず保管してください。

本製品は車両への衝撃やガラス破壊、ドア開、車内侵入などの異常を感知し警報を行う装置です。 車両盗難、部品盗難、車両へのいたずらなどから完全に防止できるものではありません。なお、本製品 の動作の有無にかかわらず発生したいたずらなどによる損害に対しての当社補償は一切ありません。 また、誤った取り付けや使用による事故、破損などの責任は負いかねますのでご了承ください。

目次	· 1
KUJIN センサの特徴	. 2
超高感度空圧センサ	2
超音波センサ	
安全にお使いいただくために	• 4
安全上のご注意 ····································	· 4 · 5
同梱品一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
各部名称とはたらき	· 7
車載機	
アンテナユニット ····································	· 7 · 8
リモコン	. 9
· ご使用の前に····································	
リモコンの電池を交換する	10
通信範囲 ····································	11
車両純正キーレスリモコン、スマートキー、	
インテリジェントキーをご使用の場合	12
基本操作 ·····	· 13
リモコンの電源を入れる	13
リモコンの電源を切る	10
警戒モードを設定する	
警戒モードを解除する 車両純正キーレスリモコンで設定/解除する	
検知・警報動作とリモコン表示	
異常通知/警報動作を停止する	17
応用操作 ·····	- 18
最終警報履歴表示機能	
単発警報サイレン音発生機能	19
緊急 SOS 機能(サイレン警報連続作動)	
リモコン電池の低下通知	
緊急時のサイレン停止方法	
宝成 フンフ 点版 バメーン 切り音 た 機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
リモコン登録機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
ヒューズの交換方法	25
付録 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- 26
別売品一覧	26
仕様	
故障かな?と思ったら	28
保証書とアフターサービス	₽面

超高感度空圧センサ

●超高感度検知性能

車内の空気の圧力変化を超高感度で検知するセンサです。微小な変化、異常をもれなくキャッ チします。

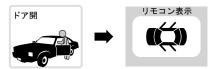
精度が高感度であることによって、正常時、異常時の圧力変化の違いを演算処理により正確に 検知できます。

●圧倒的な低誤作動

情報をデジタル変換し、独自のアルゴリズム解析により波形の演算処理を行うアプリケーションソフトを搭載。

一般のアナログタイプに比べ正確な波形処理を行えます。

このアプリケーションソフトに異常時の圧力変化をあらかじめ記憶することによって、それ以外の圧力変化を的確に判断。失報なく、誤作動の大幅な低減化が可能となりました。



※車両の窓は必ず閉めた状態にしてご使用ください。窓が少しでも開いていると正常に検知しません。

超音波センサ

超音波を利用して人体や物体の動きを検知するセンサです。

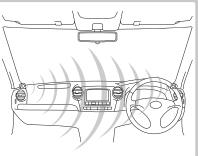
上下左右に約80度の感知角度で車内への不審者 の侵入をキャッチします。

空圧センサと連携した2重のガードが可能です。



₾アドバイス

- ・超音波は壁があると反射するため、後部座席は検知で、 きない車種がありますのでご注意ください。
- ・窓が閉まっている状態で、車付近を移動しても反応しません。

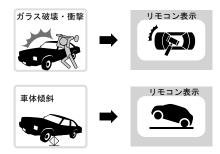


KUJIN センサの特徴

衝撃・傾斜センサ

車両の衝撃および傾きを検知するセンサです。 3 軸性のデジタルセンサにより、車幅(X)方向、 車長(Y)方向、車高(Z)方向の3方向に対応し ています。

強い衝撃で車両が揺れたり、ジャッキアップされるなど2度以上車両が傾斜した場合に反応します。



やアドバイス



※アンテナユニットは正しい向きで設置してください。

・油圧ジャッキでは反応しない場合があります。すべてのジャッキアップに反応するわけではありませんので、ご注意ください。

安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

この表示を無視して誤った取扱いを行うと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定さ れる内容です。



注

この表示を無視して誤った取扱いを行うと、人が傷害を負ったり、物的損害(※)の発 牛が想定される内容です。 ※物的損害とは家屋、家財及び家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。



色 アドバイス 本製品に関する補足情報を説明します。



で示した記号は、してはいけない行為【禁止行為】であることを告げるものです。



で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。

◇「道路運送車両の保安基準」(保安基準) について

国土交通省では、2003(平成15)年7月7日に道路運送車両の保安基準を改訂し、2006年7月1日以降登録の 普通乗用車、2008年7月1日以降登録の軽自動車に盗難発生警報装置を装着した場合は、新保安基準に適合す ることが必要となりました。

- ●本製品は保安基準に対応(全国自動車用品工業会自主基準登録商品)ですが下記のことを守らないと車検を 通過しないまたは整備不良車になる恐れがあります。
- ・商品の取付けは必ず取付要領書通りに行ってください。もし取付要領書通りでない不適切な取付けを行った 場合には車検に通過しない可能性があるだけでなく、整備不良車とされる恐れがあります。
- 登録証(技術基準適合の証明書)は車検時の審査の参考資料として利用されます。あるいは提出を求められ る可能性がありますので車検証に添付することをお勧めします。
- ・取付けした車載機、配線類は車内外から見えないように取付配線を必ず行ってください。
- ・保安基準についてのご質問、お問い合わせは国土交诵省に直接お問い合わせください。

安全上のご注意

- 本製品は落下のないよう確実に取付けてあるか確認してください。落下物によりけがをする危険性があり ます。また落下物が運転の障害となり事故を起こす危険性があります。
- 本製品の取付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また車両の機能(ブレーキ・ハンドル・アクセル・ シートベルト・エアーバックなど)の妨げのならない場所に取付けてあるか確認してください。
- リモコン及びリモコン雷池、梱包のポリ袋やフィルム類は、幼児の手の届かない場所に保管してください。 小さいお子さまが、呑みこんだり、かぶったりすると呼吸を妨げる危険があります。
- 破損や有害物のでる恐れがありますので、専用の電池を火の中に投入しないでください。
- 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。
- 絶対に改造・分解・修理しないでください。発火や感電・けがの恐れがあります。また、電波法により処 罰の対象となります。
- 運転中の取外し及び操作は行わないでください。運転の障害となり、事故を起こす可能性があります。

安全にお使いいただくために

- 本製品は医療機器や高い安全性が要求される機器の近くでは使用しないでください。電波により機器に影響を与える恐れがあります。
- 配線やケーブルはしっかり固定してあるか確認してください。配線が身体、運転装置にからみ、事故を起こす危険性があります。
- 本製品に水をかけないでください。火災や感電の原因となります。
- 湿気の多い場所では使用しないでください。
- 本製品にぬれた手で触れないでください。感電する可能性があります。

<u> 注意</u>

- ▼ 車内に人がいる状態で使用しないでください。警報音により、聴覚に異常をきたす恐れがあります。
- 本製品をシンナー、アルコールなどで拭かないでください。変色の原因や故障の原因となります。
- ▼ アンテナユニットのアンテナを内側に向けないでください。急ブレーキ時などにけがをする恐れがあります。
- 直射日光のあたる場所にリモコンをそのまま放置しないでください。製品が高温になりやけどをする可能性があります。また、損傷や故障の原因となります。
- 🛇 可燃物として廃棄しないでください。一般ゴミとして焼却した場合、有害物質が発生する可能性があります。
- 電池から漏液した液が皮膚や衣装に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

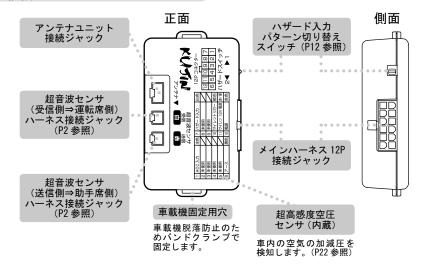
使用上のご注意

- ■本製品のコネクタ端子に針金などの金属を触れないようにしてください。
- ■乗車前には、必ず警戒モードの解除を行ってください。また運転中はリモコン操作を行わないでください。
- ■本製品は、オープンカーやキャンバストップ車など気密性の低い車両では使用できません。
- ■本製品は、純正キーを運転席側ドアの鍵穴に差し(キーレスを使用しないで)、アンロックした際にハザードが点滅する車両では、純正キーレス連動はできません。
- ■本製品は、エンジンスターターおよびターボタイマーとの併用はできません。誤作動の原因となります。
- ■警戒モード設定時は必ず、車のドアや窓ガラス、サンルーフなどを完全に閉めてください。窓ガラスが開いていると動作不良の原因となります。
- ■警戒モードを設定した場合、強い風、雷及び雨などが降ったときや花火、飛来物などによって警報が発生する可能性があります。また窓ガラスやボディに直接衝撃が加わった際にも警報を発する可能性があります。
- ■警戒モード設定中(駐車中)の車内に、人、小動物などがいない状態でご使用ください。センサが検知し、 警報動作をします。
- ■リモコンを長期間使用しない時は、電池を取外して保管してください。電源OFFの状態でも電池は消耗しますので、電池の寿命が短くなります。
- ■リモコンは完全防水ではありませんので、水が入らないようにしてください。
- ■海外では使用しないでください。電波法違反により処罰対象となります。
- ■リモコンは湿気やホコリの多い場所、または高温になる場所では使用しないでください。発煙・発火・故障の原因となります。
- ■リモコンをテレビ・ラジオ・パソコンの近くで使用しないでください。電波により影響を受ける可能性があ ります。
- ■技術適合証明ラベルは絶対にはがさないでください。ラベルをはがしますと技術適合品とみなされません。
- ■強い電磁波のある所では使用しないでください。電磁波障害により誤動作の原因となります。
- ■車全体にスモークフィルムが貼り付けてある場合、リモコンが使用できない場合があります。
- ■本製品は自動式の立体駐車場には対応しておりません。振動や衝撃によって警報を発する恐れがあります。

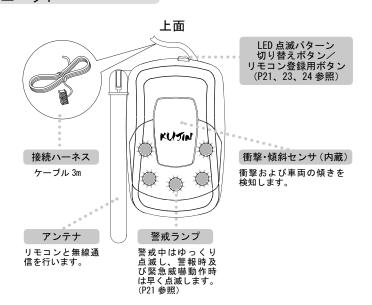


- ・同梱品の外観および製品仕様は製品の性能向上のために予告なしに仕様変更されることがあります。
- ・ステッカーは視界を妨げない位置のガラス面に車両の内側より貼付けてください。

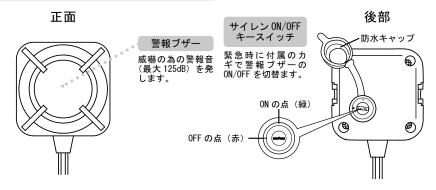
車載機



アンテナユニット



サイレン(バックアップ電池内蔵)



やアドバイス

- ・サイレンにはバッテリーが内蔵されておりますので断線時、サイレン警報を行います。
- ・サイレン用カギは、付属の2本しかございませんので、紛失には十分ご注意ください。
- ・サイレン用カギのみの別売はありません。万が一カギを紛失されてしまった場合は別売りのサイレン (カギ付)を購入してください。 (P26 参照)

▲注 意

サイレン ON、OFF の切替えを行った後は、必ず防水キャップを閉めてください。

リモコン

正面 セットボタン リモコン表示部 **o** 警戒モードの設定や 該当する警報内容を赤 リモコンの登録に使用 (CD) 色で表示します。(P16 します。(P14 参照) 参照) α'n ũ 0 パワーボタン リセットボタン リモコン電源の ON/OFF 警戒モードの解除や ((!)) に使用します。(P13 参 リモコンの登録に使用 します。(P15 参照) 感度設定ボタン SOS ボタン 空圧センサの感度調整や 単発音を鳴らしたり、威 嚇動作をするときに使 用します。(P19参照) リモコンの登録に使用し ます。(P22 参照) 裏面 内蔵アンテナ 本体と無線通信を行い ます。 ⊕ バッテリーカバー リモコンの電池が入り ます。(P10 参照) ⊕ ⊲ 絶縁シート 初めて使用する時は必 **(** ず絶縁シートを抜いて ください。

キーリング 車のキーなどにつなげ ることができます。

リモコンの電池を交換する

製品購入時には、リモコンの電池は装着されています。必ず絶縁シートを抜いてから使用してください。電池を交換する場合は以下の手順に従って電池を装着してください。

使用電池型式: CR2032 × 2個

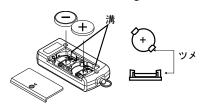
▲注 意

指定電池(CR2032)以外は使用しないでください。

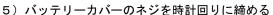
- 1) バッテリーカバーのネジを外す
 - ・プラスドライバーを使用してください。



- 2) バッテリーカバーを外す
 - ・矢印方向へスライドしてバッテリーカバーを開けてください。
- 3) 電池をいれる
 - ・リモコン本体に表示してある+、一を確認して正しく入れてください。
 - ・ツメにしっかりはまるようにセットしてくだ さい。
 - ・新しい電池と交換する場合は、右図の溝に細い棒等を入れ古い電池を取り外し、新しい電池に交換してください。



- 4) バッテリーカバーを閉める
 - ・矢印の方向へスライドしてバッテリーカバーを閉めてください。
 - ツメが正しくはまるようにセットしてください。



- プラスドライバーを使用してください。
- ・付属のネジ (M2 × 6mm) 以外は絶対に使用しないでください。故障の原因となります。



₾アドバイス

- ・新品の電池を使用した場合、1日8回のセット・リセット操作で約4ヶ月の使用が可能です。(使用条件により異なります。)
- ・リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り外して保管してください。
- ・工場出荷時はテスト用の電池をセットしていますので電池自体が自然放電して電池寿命が約4ヶ月間を下回る場合があります。

通信範囲

リモコンからアンテナユニットへの無線通信には、微弱電波を使用しています。したがって、通信範囲は半径約10m以内です。

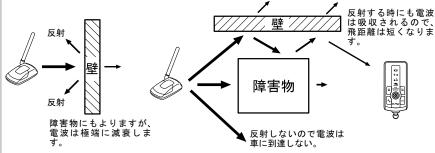
アンテナユニットからリモコンへの無線通信には、特定 小電力無線を使用しています。したがって通信範囲は見 通しで最大約1000m、市街地で最大約300mです。



₾アドバイス

電波特性について

- ・鉄筋コンクリートの壁や、トタン等電気を通す障害物が車とリモコンの間にあると、極端に到達距離が短くなります。(電波が障害物によって反射するため)
- ・電波は直進しかしません。ただし反射しながら飛ぶ場合があります。車が直接見えていなくてもまわりに反射できそうな壁・建物等があれば届くことがあります。逆に、車との間に障害物があった場合まわりに反射できる壁・建物等がなければ届きません。



・リモコンを操作する場合は、電波の送信性を安定させるためにリモコンケースを手で包み込む事のないように操作してください。また、リモコンを車に向けて(寝かせた状態)で使用すると、送信距離が極端に落ちる場合があります。必ず地面に対して垂直(立てた状態)でご使用ください。



車両純正キーレスリモコン、スマートキー、インテリジェントキーをご使用の場合

(※ハザード延長線(白色/1.5m)の接続が必要です。)

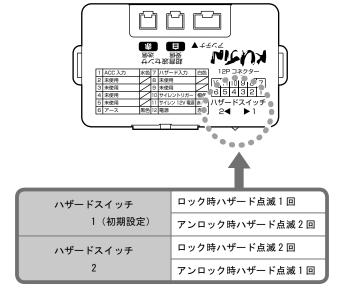
初期設定:ハザードスイッチ 1

ハザード点滅アンサーバック(作動確認)機能を搭載した車両純正キーレスリモコンのドアロック/アンロック操作に連動して、警戒モードを設定/解除することができます。

ハザードスイッチ切り替えについて

初期設定ではドアロック操作をして、ハザードランプが1回点滅してから数秒後に警戒モードが設定されます。アンロック操作をして、ハザードランプが2回点滅してから数秒後に警戒モードが解除されます。

ドアロック、アンロック作動時のハザード点滅回数が入れ替わっている場合(ドアロック時:2回、アンロック時:1回)は車載機側面のハザードスイッチにより設定を「2」へ変更してください。



小注 意

- ・上記以外のハザード点滅を行う車両、または車両純正キーレスリモコンを操作してもハザード点滅 しない車両は、ドアロック/アンロック作動と連動して警戒モードの設定/解除をすることができ ません。
- ・車両純正キーレスリモコンで警報動作を停止することはできません。

設定、操作を行う前に配線接続が終了していることを確認してください。

₾アドバイス

・リモコンを操作する場合は、電波の送信性を安定させるためにリモコンケースを手で包み込む事の ないように操作してください。





リモコンの電源を入れる

- 1) パワーボタンを2秒間押す
 - ・リモコンから「ピッ」と音がします。
 - ・全リモコン表示が約1秒間点灯し、電源 ON になります。



リモコンの電源を切る

- 1) パワーボタンを2秒間押す
 - ・リモコンから「ピピー」と音がします。
 - ・リモコンの電源が OFF になります。



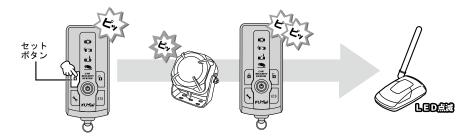
警戒モードを設定する

窓は完全に閉めて車内を密閉してください。隙間があると、気圧の変化を正しく検知することができず、空圧センサが正常に作動しません。(オープンカーやキャンバストップ車では使用できません。)

エンジンを切り、降車してすべてのドアをしっかり閉めてください。

小注意

- ・車内に人やペットがいる状態で使用しないでください。サイレンにより聴覚に異常をきたす恐れがあります。
- ・警戒モード中に車内で他の機器を作動させないでください。センサが検知する場合があります。
 - 1) セットボタンを 1 秒間押す※リモコンの送信距離は約 10m 以内です。(P11 参照)
 - 「ピッ」とボタン操作音がします。
 - サイレンから「ビッ」と音がします。
 - ・リモコンから「ピピッ」と音がして通信完了になります。
 - ・警戒ランプが全点滅してキャンセルタイマーが開始されます。(約20秒間)
 - ・警戒ランプの点滅パターンが切り替わり警戒モードとなります



₾アドバイス

诵信エラーについて

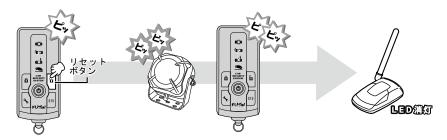
・リモコン操作後、「ブッブー」と音がすると通信エラーです。サイレンおよび警戒ランプは作動しません。リモコンの通信範囲(半径約10m以内)および通信の妨げとなる遮断物がないか確認し、再度リモコン操作してください。

キャンセルタイマーについて

- ・キャンセルタイマー中は、警戒ランプが約 20 秒間全点滅します。このとき、各種センサは異常を 検知しません。
- ・誤作動防止のため、キャンセルタイマー時間の調節および解除設定をすることはできません。

警戒モードを解除する

- 1) リセットボタンを 1 秒間押す※リモコンの送信距離は約 10m 以内です。(P11 参照)
 - ・「ピッ」とボタン操作音がします。
 - サイレンから「ビッビッ」と音がします。
 - ・リモコンから「ピピッ」と音がして通信完了になります。
 - 警戒ランプが消灯します。



車両純正キーレスリモコンで設定/解除する

- 1) 車両純正のキーレスリモコンでドアロック操作する
 - ・ハザードランプが点滅してから数秒後、付属リモコンで設定操作したときと同様にキャンセルタイマー→警戒モードが設定されます。
- 2) 車両純正のキーレスリモコンでアンロック操作する
 - ・ハザードランプが点滅してから数秒後、付属リモコンで解除操作したときと同様に警戒 モードが解除されます。

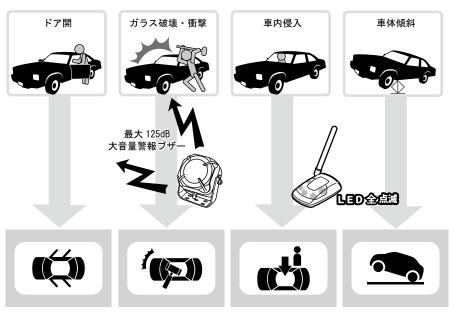
▲注 意

- ・アンロック操作をしたときは、ハザードランプが点滅し、サイレンから「ビッビッ」と音がしたことを確認してから車両のドアを開けてください。その前に車両に乗り込むと警報動作を行ってしまう場合があります。
- ・純正キーをドアの鍵穴に差し(キーレスを使用しないで)、ドア等を開放した場合、車両側のハザード点滅動作をしないため、純正キーレスリモコン連動時でもセキュリティの警戒モード解除はされませんのでご注意ください。
- 機械式の立体駐車場に駐車する際は、本製品付属のリモコンにて警戒モードを解除してください。 振動や衝撃を検知し、警報を発します。
- ・純正キーのトランクボタンを押してトランク開放しても、セキュリティの警戒モード解除はされませんのでご注意ください。

検知・警報動作とリモコン表示

警戒モード中に窓ガラス破壊・車体への衝撃やドア開、車内侵入を検知したときには、警報動作(警戒ランプが短い間隔で全点滅し、サイレンは最大 125dB で鳴動) を発し、リモコンへアラーム通知します。警報動作は30秒後に停止しますが、警戒モードは継続していますので、再度異常を検知すると警報動作します。

※ただし、リモコンが通信可能範囲外の場合は、アラーム通知はされません。



リモコンは異常通知を受信すると各異常別のリモコン表示の点滅、および「ピーピー ピー・・・」と音で 10 秒間お知らせします。

10 秒間に別の異常通知を受信すると該当するリモコン表示の点滅に切り替わり、再度 10 秒間、リモコンの音と合わせてお知らせします。

10 秒後にリモコンの音は停止し、リモコン表示は消灯しますが、警戒モードは継続していますので再度異常通知を受信するとリモコン表示と音でお知らせします。

異常通知/警報動作を停止する

サイレンのみ停止する場合(警戒モード継続)

1) SOS ボタンを 1 秒間押して離す、または SOS ボタンを 3 秒以上押す ※リモコンの送信距離は約 10m 以内です。(P11 参照)

操作内容		リモコン操作音	状態
(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	SOS ボタンを 1 秒 間押して離す	ピッ	サイレンのみ停止し、警戒モー
Sos ボタン	SOS ボタンを 3 秒 以上押す	ピピー	ドに戻ります。

サイレンおよび警戒モードを解除する場合

1) リセットボタンを 1 秒押す、または IG キーを ACC ポジションにする ※リモコンの送信距離は約 10m 以内です。(P11 参照)

操作内容	リモコン操作音	状態	
リセット は は は は は は は は は は は は は	リセットボタン を 1 秒押す	Ľ ッ	警戒モードが解 除されます。
Acc	IG キーを ACC ポ ジションにする	_	

軽い衝撃を検知した場合

サイレンが「ビーッ」と1回鳴り、警戒ランプはサイレンに合わせて全点滅し、不審者を威嚇します。 軽い衝撃の検知時は、リモコンへのアラーム通知は行われません。

軽い衝撃の検知に対する威嚇動作は、保安基準により1回の警戒モード設定に対し、合計10回まで作動します。11回目以降は軽い衝撃に対する威嚇動作を行いません。

⚠注 意

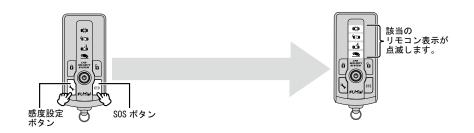
・リモコンへの異常アラーム通知が受信して(電波を受けて)いる時は、リセットボタンや SOS ボタンをすぐに押してもリモコンからの送信(電波を送っている)がタイミングによりぶつかり、停止や解除できない場合があります。再度リセットボタンや SOS ボタンを押し、サイレンの停止や警戒モードの解除を行ってください。

応用操作

最終警報履歴表示機能

リモコンは、最終の異常通知(軽い衝撃は除く)を履歴として記憶します。リモコンを操作して 最終警報を確認することができます。

1) 感度設定ボタンと SOS ボタンを同時に 1 秒間押す



₾アドバイス

リモコンのセットボタンを押す、またはリモコンの電池を取外す(電池が切れる)と履歴はクリア されます。

リモコンが通信範囲外(P11参照)の場合はアラーム通知されないため、警報履歴は残りません。

単発警報サイレン音発生機能

リモコンを操作して任意にサイレンから単発警報サイレン音を1回のみ鳴らすことができます。 リモコンの送信距離は半径約10m以内です。(P11参照)

- 1) SOS ボタンを 1 秒間押して離す
 - リモコンから「ピッ」と音がします。
 - ・SOS ボタンを放した際にサイレンが「ビッ」と1回鳴ります。
 - 警報ランプがサイレンに合わせて全点滅します。



緊急 SOS 機能(サイレン警報連続作動)

リモコンを操作して任意にサイレンを 30 秒間鳴らすことができます。 リモコンの送信距離は半径約 10m 以内です。(P11 参照)

- 1) SOS ボタンを 3 秒以上押す
 - ・リモコンから「ピピー」という音がし、サイレン警報動作が開始されます。
 - ・約30秒間サイレンが鳴り、警戒ランプが点滅し続けます。

<u>停止方法</u>

- 1) 警報動作中(30 秒間)に再度 SOS ボタンを 3 秒以 上または 1 秒間押して SOS ボタンを離す
 - ・サイレン警報動作が停止されます。



▲警告

緊急 SOS 機能は非常時のみご使用ください。

リモコン電池の低下通知

リモコン電池の残量が約30%になると、「ピーピーピー」という音で電池残量低下を1回のみお知らせします。

その後セットボタンまたはリセットボタンを押すごとに、「ブッブッブッ」という音でお知らせ します。

電池が切れる直前には「ピー」という連続音でお知らせをします。速やかに電池交換してください。



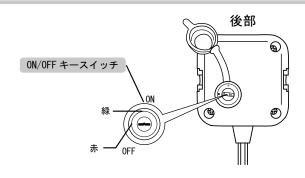
緊急時のサイレン停止方法

リモコンの紛失や電池切れ、ケーブルの断線や車両のバッテリー上がりなどの各種トラブルによ り手動でサイレンを停止させる場合は、以下の方法を行ってください。

- 1) サイレン後部の ON/OFF キースイッチをサイレン用カギで OFF (赤色) にする、または IG キーを ACC ポジションにする
 - ・サイレン用カギで停止した場合は、サイレンは停止しますが警戒ランプは点滅したままの 状態となります。

₾アドバイス

- IG キーで停止した場合は、警戒モードが解除されます。
- ・サイレンは断線時の対策として内蔵電池を搭載しています。車両のバッテリーを交換する際は必ず サイレンのキースイッチをOFF(赤色)にしてください。
- ・ケーブル断線時はお買い求めの販売店または、お客様サービスセンターまでお問い合わせください。
- ・サイレン後部にあるゴムキャップの閉め忘れにご注意ください。サビや水入りの原因となります。



警戒ランプ点滅パターン切り替え機能

初期設定:パターン① LED 点滅パターン ・警戒モード解除中に、アンテナユニットの LED 点滅パ 切り替えボタン ターン切り替えボタンを押すことで、警戒ランプの点 滅パターンを切り替えることができます。 ・点滅パターンは4種類あります。 パターン① パターン② パターン③ パターン④ (初期設定) スイング スキャン 全5灯点滅 中1灯点滅 ボタンを押さずに10秒以上経過

警戒ランプ消灯で設定完了

空圧センサの感度調整

初期設定:HIGH

リモコン操作により、空圧センサの感度設定を LOW/HIGH に調節することができます。 リモコンの送信距離は半径約 10m 以内です。(P11 参照)

LOW...

一般のセダン車などに適応しています。(環境ノイズに強い) LOW 設定でドアをゆっくり開けたときに検知しにくい場合は、HIGHに設定してください。

HIGH...

ワンボックス車など車内空間の広い車に適応しています。

- 1) 警戒モード解除中に感度設定ボタンを 5 秒 間押す
 - ・リモコンから「ピピー」と音がします。
 - ・警報ランプが設定に応じて約10秒間点滅し、消灯後に設定が完了します。









₾アドバイス

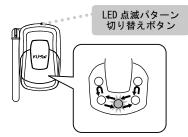
- ・警戒モード設定中は、空圧センサの感度調整をすることはできません。
- ・上記操作の繰り返しでLOW→HIGH→LOW…と設定が切り替わります。
- ・台風や風速が強い場合など、LOW設定にしていても検知する場合がありますのでご注意ください。
- ・オートスライドドアの開閉は空圧の変化が小さいため検知しない場合がありますのでご注意 ください。

リモコン登録機能

- ・ リモコンは、最大3台(付属のリモコンを含む)まで登録することができます。
- ・万が一、リモコンを紛失または破損した場合でも別売品(オプション)の追加リモコンを登録することで、車載機やアンテナユニットを交換することなく、引き続きご使用いただけます。
- ・車両のバッテリー交換やメインハーネスを外した場合など、リモコンで警戒モードの設定/解除ができなくなった場合は、付属リモコンの再登録が必要となります。
- ・リモコンは、1 台目(付属)、2 台目(追加)、3 台目(追加)でそれぞれ登録方法が異なります。 以下の手順に従って登録してください。

1台目(付属)のリモコン再登録方法

- 1) 警戒モード解除中にアンテナユニット の LED 点滅パターン切り替えボタンを 5 秒以上押す
 - 警戒ランプがパターン①のスイング点滅します。

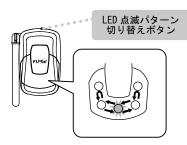


- 2) 警戒ランプが点滅してから 30 秒以内に、登録するリモコンのセットボタンとリセットボタンを同時に 1 秒間押す
 - 「ピッ」とボタン操作音が鳴った後、リモコンから「ピー」と登録確認音が鳴り、警戒ランプが消灯する。



2台目のリモコン追加登録方法

- 1) 警戒モード解除中にアンテナユニット の LED 点滅パターン切り替えボタンを 5 秒以上押す
 - 1台目と同様に警戒ランプがパターン①のスイング点滅します。



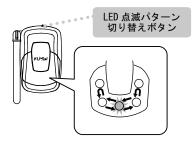
応用操作

- 2) 警戒ランプが点滅してから 30 秒以内に、登録するリモコンの<u>セットボタ</u>ンと SOS ボタンを同時に 1 秒間押す
 - ・「ピッ」とボタン操作音が鳴った後、リモコンから「ピーピー」と登録確認音が 2 回鳴り、 警戒ランプが消灯する。



3台目のリモコン追加登録方法

- 1) 警戒モード解除中にアンテナユニット の LED 点滅パターン切り替えボタンを 5 秒以上押す
 - ・1、2 台目と同様に警戒ランプがパターン①の スイング点滅します。



- 2) 警戒ランプが点滅してから30秒以内に、登録するリモコンのセットボタンと感度設定ボタンを同時に1秒間押す
 - ・「ピッ」とボタン操作音が鳴った後、リモコンから「ピーピーピー」と登録確認音が3回 鳴り、警戒ランプが消灯する。



トアドバイス

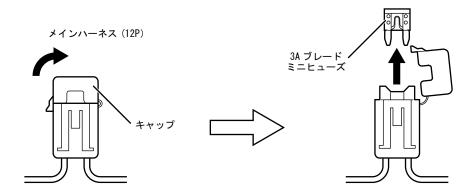
警戒ランプがスイング点滅してから 30 秒以内に登録操作がされない場合は、警戒ランプが消灯します。再度手順①から操作してください。

応用操作

ヒューズの交換方法

メインハーネス (12P) のキャップ (白いプラスチック部) を開けてヒューズを取り出して交換してください。

- ・ヒューズが切れた場合は別途お買い求めください。
- ・ヒューズを交換しても再びヒューズが切れる場合は、お買い求めの販売店にお持ちください。



別売品一覧

オプション・消耗品のお買い求めはお買い上げ販売店までお問い合わせください。

車載機	(品番: DCC-M2001)
アンテナユニット	(品番: DCC-M2002)
サイレン(カギ付)	(品番: DCC-M2003)
超音波センサユニット(送受信セット)	(品番: DCC-M2004)
追加リモコン/登録方法取扱説明書付	(品番: DCC-M2005)
メインハーネス(ヒューズ付)	(品番: DCC-M2019)

仕様

システム全体		
消費電流 (12V)	警戒時… 20mA 以下(平均值)	
月頁电流(IZV)	警報時… 1600mA 以下(最大値)	
消費電流 (24V)	警戒時… 12mA 以下(平均値)	
月复电流(Z4V)	警報時… 900mA 以下(最大値)	

車載機			
電源電圧	DC12V · DC24V		
動作温度範囲 -40℃~ +85℃			
寸 法 全長 80mm × 全幅 50mm × 全高 19mm			
重量	51 g		

	アンテナユニット
適合技術基準	特定小電力無線
使用周波数	426.05MH z 帯
通信方式	単向通信方式
電源電圧	DC5V
動作温度範囲	-40°C∼ +85°C
寸 法	全長 42mm ×全幅 64mm ×全高 31mm ケーブル 3m
重量	24 g

サイレン		
電源電圧	DC12V	
動作温度範囲	-40°C ~ +125°C	
寸 法	全長 86mm ×全幅 58mm ×全高 58mm ハーネス 4m	
重量	215 g (コード含む)	
警報音圧	最大 125dB (正面 1m)	

リモコン			
適合技術基準	微弱電波		
使用周波数带	315MHz		
通信方式	単向通信方式		
電源電圧	DC6V		
消費電力	待受け時… 55 μ A (平均値)		
/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	警報時… 15mA (ピーク値)		
動作温度範囲	-10°C∼ +60°C		
寸 法	全長 65mm ×全幅 31mm ×全高 14.5mm		
重量	28 g		
連続動作	約4ヶ月(1日8回使用)		

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。

症状	確認	対 策	お左買記
リモコンが反 応しない	リモコンの電源は ON になってい ますか?	リモコンの電源を ON にしてくだ さい。	お買い上げる
	本体部の配線は全て接続されてい ますか?	配線、接続を確認してください。	
本体が反応しない	通信可能距離でリモコンを操作し ていますか?	通信可能距離まで移動してください。 障害物等の使用環境で通信可能距離は大きく異なります。	の販売店へお持ちください。してもなお異常がある場合は
	リモコンのアンテナ部を手などで 覆っていませんか?	アンテナ部から手を離してください。	ちくだる
	警戒モードの設定はされています か?	警戒モードに設定してください。	さ場 い合 。は
警報動作しない	警戒モードに設定して 20 秒以上 経過していますか?	20 秒後に確認してください。	ただ
	窓は完全に閉まっていますか?	窓を閉めてください。	ただちに使用を中止して
	感度設定はあっていますか?	感度を設定し直してください。	用を中
警報動作する がリモコンに 通報されない	通信可能範囲で使用しています か?	通信可能範囲で使用してください。 障害物等の使用環境で通信可能範囲は大きく異なります。	止して
サイレンが鳴 らない	サイレン後部のキースイッチが OFFになっていませんか?	付属のキーで ON にしてください。	
超音波センサが反応しない	超音波センサの取付け位置は指定の 位置に正しく取付けてありますか?	取付けが正しく行われているか確認してください。	

Q&A

質 問	回 答
リモコンエンジンスターターやター ボタイマーと併用できますか?	本製品はリモコンエンジンスターターやターボタイマーとの 併用はできません。誤作動の原因となります
自動式の立体駐車場に車を停めて も大丈夫ですか?	本製品は自動式の立体駐車場に対応しておりません。振動や衝撃に よって警報する恐れがあります。
台風などの風の強い日に警報して しまいますか?	空圧センサの設定をLOW設定にしていても検知してしまうことがあります。
リモコンの送信距離は何 m ですか?	リモコンの送信距離は半径約10m以内です。ただし、リモコンを手で包み込むように持ったり、車との間に障害物があると通信距離が極端に落ちることがあります。ご注意ください。
空圧センサの調整はどのように行 うのですか?	初期設定「HIGH」の状態で空圧センサが誤作動してしまうような場合、リモコンの感度調整ボタン(→ マーク)を5秒間押すことにより、設定を「LOW」に設定してください。ただし、「LOW」設定時にドアを開けた時に検知しにくい場合は「HIGH」設定でご使用ください。
個人で取付けを行いたいのですが、 取付けサポートを受けることがで きますか?	申し訳ございませんが、お客様ご自身での取付けに対するサポート は行っていません。取付けはお買い上げの販売店またはカーディー ラーにご依頼ください。
イモビライザー装着車ですがセキュ リティの取付けはできますか?	本製品はイモビライザー装着車にも問題なく取付けすることができ ます。
純正キーレスリモコンでセキュリ ティの操作はできますか?	本製品付属のハザード延長線を接続することによって連動することができます。ただし、純正キーレスリモコンを操作した際、ハザードの点滅回数が「ロック時1回、アンロック時2回」または「ロック時2回、アンロック時1回」点滅する車両のみ取付け可能です。
あまり車に乗らないのですが車両 のバッテリーは上がりませんか?	本製品は待機時は低消費電流設計になっていますので数日でバッテリーが上がってしまうことはありません。 弊社では1週間に1度はエンジンを始動させ、車両バッテリーを充電することをおすすめします。
輸入車にも取付けできますか?	本製品は輸入車に取付けはできません。国産 12V 車両または 24V 車両で(一) アースの車両のみ取付け可能です。取付ける前にお車の仕様をご確認ください。
オプションセンサーを取付けるこ とはできますか?	本製品にオプションセンサーの設定はございません。
車両へのイタズラや車両周辺のう ろつきにも効果はありますか?	本製品は車両への衝撃や侵入、ジャッキアップ等を検知して警報を 行うため、車両へのイタズラ、車両周辺のうろつきを防止するため に使用することはおすすめしません。
大型トラックや改造車が通った時に 鳴ってしまうことはありますか?	大型トラックなどが通行した際の振動で、本製品の衝撃センサが検知した場合は「弱い衝撃」の警報 (サイレンが 1 回「ビーッ」と鳴る)を行います。
オートスライドドア車でも空圧セ ンサは反応しますか?	オートスライドドアの開閉は空圧の変化が小さいため、検知しない 場合があります。



取付要領書

国産 12V/24V 車対応

このたびは、KUJINをお買上げいただきありがとうございました。

本製品は国産 12V 車両または 24V 車両で (-) アースの車両のみ取付け可能です。それ以外のお車には取付けできません。取付ける前にお車の仕様をご確認ください

本書は、KUJINの取付要領について記載してあります。

取付け前に必ずお読みいただき、正しい取付けを行ってください。

取付けミスは、誤作動や車両の電装品に悪影響を与える原因となります。

取付けはお買い上げの販売店またはカーディーラーにご依頼ください。車両電装の知識不足による誤った 配線方法により車両の破損、故障が発生しても弊社では一切の責任を負いかねます。

また、別冊の「取扱説明書」は必ずお客様にお渡しください。

品番

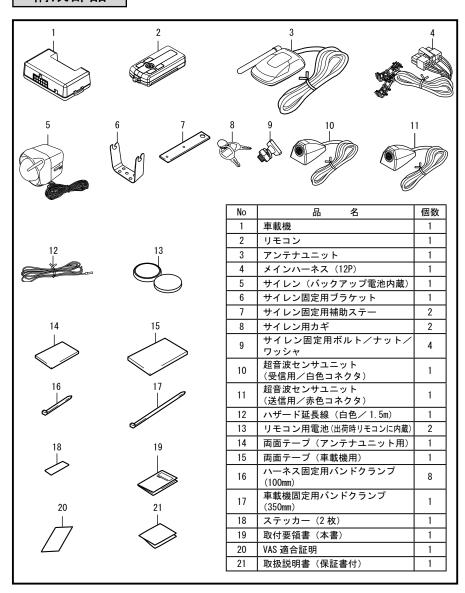
品	番	
DCC-	M2000	

用語の定義

△警告	このマークのついた"注意事項"を守らないと事故につながったり、人が 死亡したり重傷を負うなどのおそれがあります。
△注意	このマークのついた"注意事項"を守らないと事故につながったり、けが をしたり、車両や部品を損傷するなどのおそれがあります。
費アドバイス	このマークは、作業をスピーディおよび容易にするための補足説明を表し ます。
「前・後・左・右」	車両運転状態(運転者が車両前方を見た状態)での向きを表します。

P-Ver. 1 422180

構成部品



取付け上の注意事項

取付けに際しては「本書」に記載されている"注意事項"を必ず取付けに反映させて作業を行ってください。

もし、これらの"注意事項"を無視して取付けた場合は、KUJINの正常な作動を阻害するばかりでなく、人身事故、車両事故につながるおそれがあります。

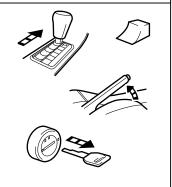
∧注意

1. 取付作業の前に

- ・本製品は国産 12V 車両または 24V 車両で (-) アースの 車両のみ取付け可能です。それ以外のお車には取付けで きません。取付ける前にお車の仕様をご確認ください
- ・本製品はエンジンスターターおよびターボタイマーと の併用はできません。誤作動の原因となります。
- ・本製品を取付ける前に車両部品の点検を行ない正常に 作動することを確認してください。
- ・ショート防止のため、バッテリー (-) ケーブルをはず してください。
- ・輪止めなどにより、車両が動かないようにしてください。
- ・シフトレバーは、パーキングに入れて作業を行ってく ださい。
- ・サイドブレーキは、必ず引いて作業を行ってください。
- ・キーが抜かれていることを確認して作業を行ってくだ さい。
- ・お客様の利用状況を確認した上で取付位置を決定して ください。

2. 取付けについて

- ・ユニットおよび配線は振動で動いたり、はずれたりしないようしっかりと固定してください。事故や故障の原因になります。
- ・両面テープで固定する場合は、貼り付け面の汚れ、油脂分、水分などをきれいに拭き取っておいてください。 十分な接着力が得られず、振動で動いたり、はずれたりするおそれがあります。
- ・両面テープでの貼り付けは、1分間程度押さえ付けて しっかりと接着させてください。
- ・気温が低い場合は、接着力が落ちるので、ドライヤー などで暖めながら貼り付けてください。
- ・両面テープの貼り直しは、接着力が落ちるので絶対に 行わないでください。
- ・両面テープでの貼り付けは、本製品を必要以上に強く 押さえないでください。破損するおそれがあります。
- 押さえないどください。吸損するあぞれかめります。本製品が著しく高温になる位置は避けてください。
- ・本製品が安全のために運転または操作の妨げや居住性 を損なわない場所を選んでください。 ・本製品はエアバッグト部やトバ展開節囲内へは絶対に
- ・本製品はエアバッグ上部および展開範囲内へは絶対に 取付けないでください。
- ・本製品は小物入れのフタなどの可動部および展開範囲 内への取付けを避けてください。





3. 配線について

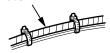
- ・ハーネスの接続は指示通り正しく行ってください。間違って接続すると、誤作動や故障の原因になります。
- ・ハーネスは座席レールなど車両側の可動部分 (30mm以上離す) や排気管のような高熱部分 (100mm以上離す) に接触しないように、すき間を十分確保して配線してください。
- ・ハーネスはブラブラしないようバンドクランプなどを利用して固定してください。ハーネスが傷付き、故障や事故を引き起こすおそれがあります。
- ・バンドクランプで固定する場合は、ハーネスが変形するほど 強く締め付けないでください。
- ・バンドクランプは締め付け後、余った先端部を切り取ってください。切り取る際、なるべく根元でカットし、斜めカットはしないでください。
- ・ハーネスを車両貫通穴やエッジ部、スポット溶接のバリなど に通す場合は、それらの部分に保護テープを貼って必ず保護 してください。ハーネスが傷付き、故障や事故を引き起こす おそれがあります。
- ・ハーネスを強くねじったり、引っ張ったり、曲げたりしないでください。内部ショート、断線、水入りの原因になります。
- ・コネクターをはずす場合は、ハーネスを引っ張らず、コネク ターを持ってはずしてください。
- ・各コネクターを差し込む際、ドライバーなどの金属物で押し 込まないでください。コネクターの端子間でショートするお それがあります。
- ・コネクターは、しっかり奥まで差し込んでください。差し込みが浅い場合、車両故障や動作不良の原因となります。
- ・重要保安部(エアバッグなど)の車両ハーネスへは固定しないでください。誤作動の原因になるおそれがあります。
- ・配線を固定する際、特に駆動部やブレーキパイプ、 ホース類には固定しないでください。
- ・復元する際、ハーネスが噛み込まないようにしてください。

4. 取付けについて

- ・取りはずした車両部品は部品ごとに整理して復元するときに 間違えないようにしてください。また、傷を付けたりしない よう取り扱いに注意してください。
- ・持ち運びの際、リモコンの操作ボタンが押されないように十分注意してください。
- ・本製品のサイレン音は、防犯上非常に効果的な 125dB で発報 するため、騒音などにならないよう、周囲の環境を考慮した 上で作動確認を行ってください。
- ・本製品は電波を使用している性質上、周囲に強力な電波が発生している個所では混信を受ける可能性が全くないわけではありませんので注意してください。
- ・作動確認を行う場合、必ずエンジンを停止して換気の良い場所で行ってください。
- ・ステッカーは決められた箇所以外の窓ガラスには貼らないでください。

(ステッカーの貼り付けは、P29の"ステッカーの貼り付け"を参照してください。)

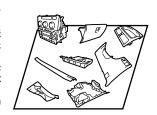
車面ハーネス





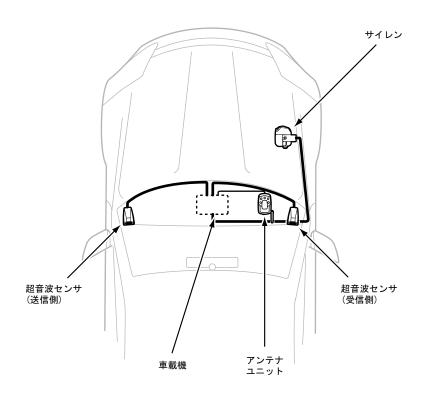






取付概要

以下は車種による取付事例を示します。製品の取付け位置はあくまで参考ですので、車両およびお客様の状況によって、各センサが反応しやすい場所へ取付けを行ってください。



取付要領

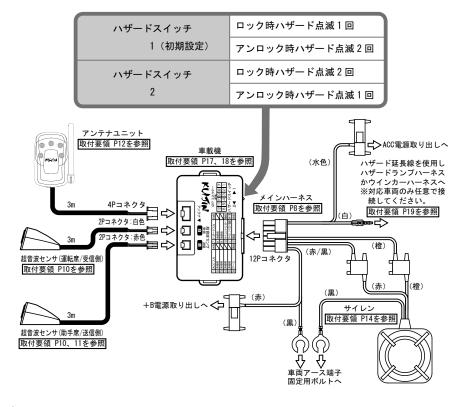
下記概略と前ページの取付概要を元に、次ページ以降に記載した各部品の取付方法や配線方法に従って KUIIN を取付けてください。

車両に合った取付位置を事前に仮決めしておくと作業が容易になります。

また、必要に応じて車両部品の取りはずしや加工が必要となります。

- 🖰アドバイス 🗕

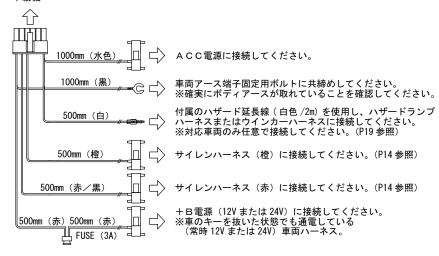
- ・仮決めしたときに、各センサーが正常に作動するか確認してください。
- ・純正キーレスリモコン連動する場合は、ハザード延長線(白線)の接続を行わなければ動作しません。
- ・本製品は、純正キーレスリモコンを操作した際にハザードが下記点滅する車両のみ純正キーレス連動可能です。
- ・本製品は、純正キーを運転席側ドアの鍵穴に差し(キーレスを使用しないで)、アンロックした際にハザードが点滅する車両では、防犯上、純正キーレス連動配線を行わないでください。



メインハーネスの取付要領

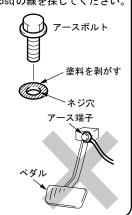
■メインハーネスの接続先

車載機へ



(1) 車両側の+B電源(12Vまたは24V)、ACC電源、ハザードランプハーネス(対応車両のみ任意)、 および車両アース端子固定用ボルトの位置を確認してください。

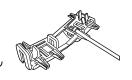
- ・メインハーネスの長さを考慮して取付位置を決定してください。
- +B電源およびACC電源の位置を確認する際、線径が0.5sg~0.85sgの線を探してください。
- ・0.5sq ~ 0.85sq の線がない場合は、半田付けで対応してください。(半田付けによる接続方法は、P9 を参照してください。)
- + B電源をオーディオなどと同様の部分から取り出した場合、電源容量が足りず動作しなかったり、ノイズなどの影響を受けて、製品故障の原因になりますので注意してください。
- ・車両アース端子固定用ボルトを使用する場合、車両の金属 部分を固定している塗装していないボルトに共締めします。
- ・アース端子は、ペダルブラケットや駆動部のボルトと共締めしないでください。
- ・アース端子の接続が不完全であると、動作不良の原因となるため、アース端子の接続には十分注意してください。
- ・オーディオやナビゲーションなどの他の電装品のアースと 同じ場所にアース端子を取付けないでください。動作不良 の原因となります。

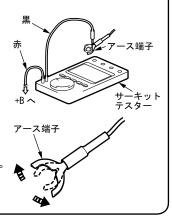


(2)接続位置を決め、メインハーネスを接続してください。

- / 注意 -

- ・接続位置を決める際、他部品(車載機、サイレン)の取付位置と各ハーネスの長さを考慮し、接続位置を決めてください。
- ・+ B 電源、ACC 電源、およびサイレンの接続は、エレタップを使用して接続してください。 (エレタップを使った接続方法は、P9 を参照してください。)
- ・アースボルトに接続する際、サーキットテスターで確実 にアースが取れていることを確認してください。
- ・アースボルトの径が大きい場合は、アースボルトの径に 合わせてアース端子をひろげて取付けてください。
- ・共締めの締め付けが不十分だと接触不良などにより正常 に作動しなくなることがありますので注意してください。





(3)メインハーネスを取り回し、ハーネス固定用バンドクランプ(100mm)で固定してください。

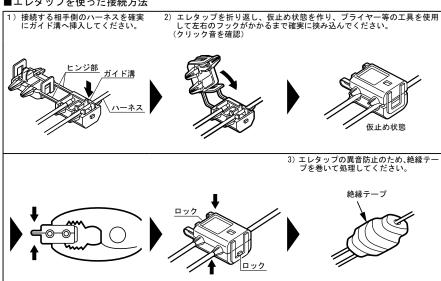
- △注意 -

- ・メインハーネスの取り回しまたは固定は、

 取付け上の注意事項

 に記載されている内容に従って行ってください。
- ・ハーネス固定用バンドクランプ(100mm)の使用は、数量に限りがありますので注意してください。

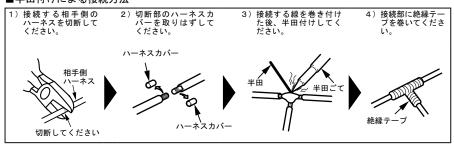
■エレタップを使った接続方法



- <u>小</u>注意 -

- ・メインハーネスに付いているエレタップは 0.5sg ~ 0.85sg 用ですので、それ以外の線径は 接続できません。
- 0.5sg ~ 0.85sg の線径がない場合は、半田付けで対応してください。

■半田付けによる接続方法



超音波センサユニットの取付要領

(1) 車両に取付ける超音波センサの位置は、取付条件を参考に位置決めしてください。



取付例

■ダッシュボード上



おもに運転席・助手席を反応・検知

■ルーフライニング



おもに後部座席を反応・検知

■取付け箇所(参考)



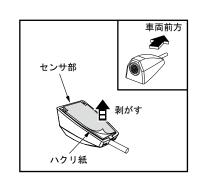
- / 注意 -

- 外側に向けないでください。正常に作動しないことがあります。
- ・センサーの取付位置によっては反応・検知しにくい場合があります。
- 全てのエリアに反応することはできません。
- ・取付け位置によって検知範囲が変わります。反応・検知しやすい位置に取付けを行ってください。

(2) 両面テープのハクリ紙を剥がし、位置決めした位置に貼り付けてください。

- / 注意 -

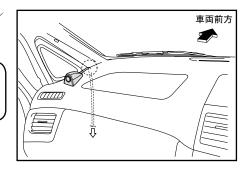
- ・センサー部貼り付け位置のゴミ、ホコリ、 油汚れなどを取り除いてから貼り付けて ください。
- ・超音波センサユニットハーネスの取り回 すルートを意識してセンサー部の向きに 注意して貼り付けてください。



(3) 超音波センサユニットハーネスをフロントピラー下の開口部またはすき間から ダッシュボード内を通してください。

- 1注意 ---

フロントガラスとダッシュボードのすき間に押し込む場合は、プラスティックリムーバーなどの工具を使用して損傷しないように押し込んでください。



(4) 超音波センサユニットハーネスを取り回し、ハーネス固定用バンドクランプ (100mm) で 固定してください。

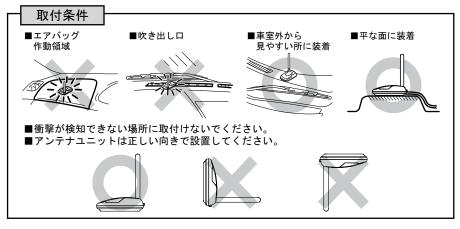
- / 注意 ----

・超音波センサユニットハーネスの取り回しまたは固定は、 取付け上の注意事項 に記載されている内容に従って行ってください。

・ハーネス固定用バンドクランプ(100mm)の使用は、数量に限りがありますので注意してください。

アンテナユニットの取付要領

(1) 車両に取付けるアンテナユニットの位置は、取付条件を参考に位置決めしてください。



(2) 4P コネクタが外れていないことを確認 し、アンテナユニットの裏側に、両面テー プ(アンテナユニット用)を貼り付けて ください。

–ੴアドバイス —

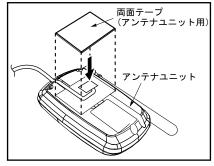
・配線は前から出すこともできます。その際はアンテナケーブル方向を変えた後、ケーブルを溝に確実にはめ込んでください。

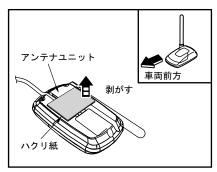


(3) 両面テープ (アンテナユニット用) のハ クリ紙を剥がし、位置決めした位置に貼 り付けてください。

- ∕\注意 —

アンテナユニット貼り付け位置のゴミ、ホコリ、油汚れなどを取り除いてから貼り付けてください。

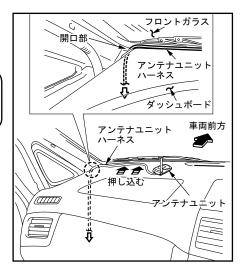




(4) アンテナユニットハーネスをフロントピラー下の開口部またはすき間からダッシュボード内を通してください。

- 1 注意 -

フロントガラスとダッシュボードのすき間に押し込む場合は、プラスティックリムーバーなどの工具を使用して損傷しないように押し込んでください。



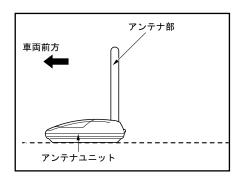
(5) アンテナユニットハーネスを取り回し、ハーネス固定用バンドクランプ (100mm) で固定 してください。

- / 注意 -

- ・アンテナユニットハーネスの取り回しまたは固定は、取付け上の注意事項 に記載されている内容に従って行ってください。
- ・ハーネス固定用バンドクランプ(100mm)の使用は、数量に限りがありますので注意してください。
- (6) アンテナユニットのアンテナ部を右図の ように垂直に立ててください。

- 八注意 -

- ・アンテナの向きを調整する際、できるだけ前方でフロントガラスに接触しない位置に調整してください。
- ・アンテナ部を垂直に立てていないと、電 波到達距離が短くなります。



サイレンの取付要領

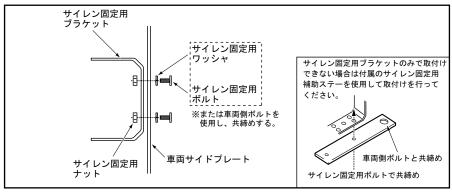
(1) 車両に取付けるサイレンの位置は、エンジンルーム内で取付条件を参考に位置決めしてください。



- ・高温になる場所や水がかかりやすい場所および可動部付近への取付けは避けてください。
- ・サイレン取付けスペースがあることを確認してください。
- ・サイレン固定用ボルトの首下の長さで固定できる厚みであることを確認してください。
- ・サイレン取付け時に他車両部品に干渉しないことを確認してください。

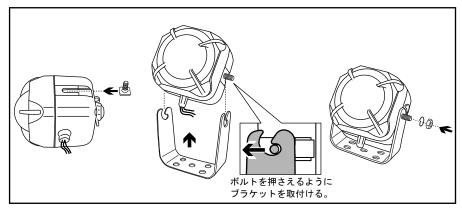
(2) サイレン固定用ブラケットを車両に取付ける。

- ■既設穴へ付属のボルト・ナットを使用し取付けるか、車両側ボルトと共締めし固定してください。 サイレン固定用ブラケットで取付けできない場合は、付属のサイレン固定用補助ステーを使用し、 取付けを行ってください。
- ※振動の大きい場所に取付ける場合は、サイレン固定用補助ステーを2枚使用し、取付けを行ってください。



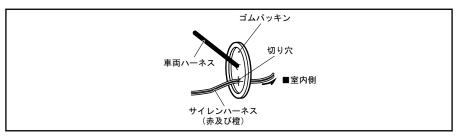
サイレンハーネスの取り回すルートを意識して、サイレン固定用ブラケットを取付けてください。

(3) サイレンをサイレン固定用ブラケットに取付けてください。



- ▲注意 -

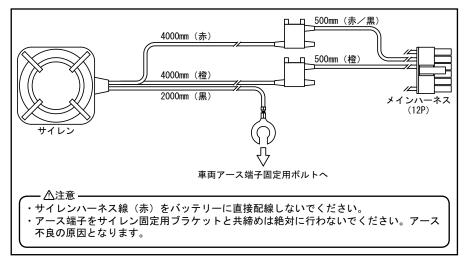
- ・サイレンの取付け方向は、サイレンから出ている電線部が上を向かないようにしてください。
- ・サイレン後部にあるキーの操作ができるように注意してください。
- ブラケットはボルトを押さえるように取付けてください。
- (4) サイレンハーネスをエンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキン等、線が通る場所にカッターナイフ等で穴を開け、室内に引き込みます。その後、余ったサイレンハーネスをハーネス固定用バンドクランプ(100mm)で固定してください。



- / 注意 -

- ・サイレンハーネスの取り回しまたは固定は、<u>取付け上の注意事項</u>に記載されている内容に従って行ってください。
- ・ハーネス固定用バンドクランプ (100mm) の使用は、数量に限りがありますので注意してください。

(5) 車両バッテリーのアース端子固定用ボルトおよびメインハーネスの接続先の位置を確認し、 接続してください。



_ ∧注意 -

- ・バッテリー以外の車両アース端子固定用ボルトを使用する場合、車両の金属部分を固定している塗装していないボルトに共締めしてください。
- ・アースが不完全であることが動作不良につながるケースが多いため、接続場所には十分注意してください。

車載機の取付要領

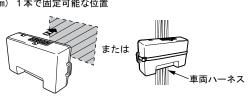
(1) 車両に取付ける車載機の位置は、取付条件を参考に位置決めしてください。

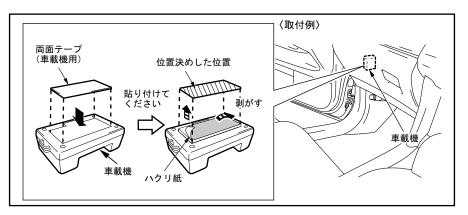
取付条件

■室外から見えない位置



■車載機を両面テープ(車載機用)または車載機固定用バンドクランプ(350mm)1本で固定可能な位置





■両面テープ(車載機用)で固定する場合

(1) 車載機の取付位置を位置決めしてください。

- 1 注意 -

車載機取付け時に他車両部品に干渉しないことを確認してください。

(2) 車載機の裏面に、両面テープ(車載機用)を貼り付けてください。

- ⚠注意 --

文字が表示されている面には貼り付けないでください。

(3) 両面テープ(車載機用)のハクリ紙を剥がし、位置決めした位置に貼り付けてください。

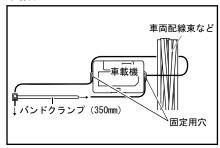
- ・車載機貼付位置のゴミ、ホコリ、油汚れなどを取り除いてから貼り付けてください。
- ・各ハーネスの取り回すルートを意識して、車載機の向きに注意して貼り付けてください。

■車載機固定用バンドクランプ(350mm)で固定する場合

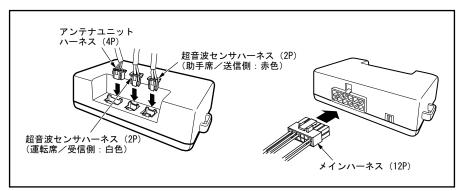
(1) 車載機を車載機固定用バンドクランプ (350mm) で車両へ固定する。

- ₾アドバイス ——

- ・既設穴や車両ハーネスを利用して固定してください。
- ・固定の際、右図のように固定用穴を利用し、車載機固定用バンドクランプ (350mm)を使用して固定してください。



■各ハーネスの車載機への接続方法



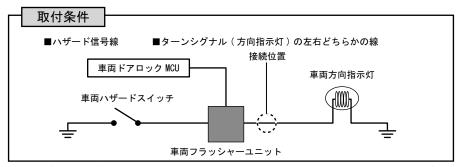
(1) メインハーネス (12P)、アンテナユニットハーネス (4P)、超音波センサハーネス (2P) × 2(送信側:赤色、受信側:白色)を車載機へ接続してください。

- ・車載機に表示された文字の指示に従って、適切な位置へ接続してください。
- ・振動で各ハーネスの接続に無理な力がかからないように、できるだけ車載機への接続部に 近い位置で各ハーネスを固定してください。
- ・超音波センサハーネスの助手席/送信側:赤色(2P)コネクタと運転席/受信側:白色(2P)コネクタは同形状のため、誤接続しないように注意してください。
- ・誤接続の場合、動作不良やセンサーが正常に作動しませんので十分にご注意ください。

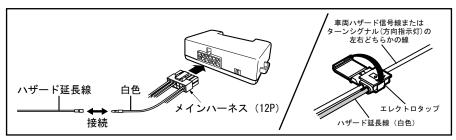
6

車両純正キーレスリモコン、スマートキー、 インテリジェントキーをご使用の場合

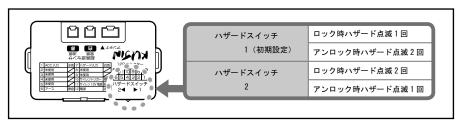
- ■ハザード延長線(白色/1.5m)の接続が必要です。
- (1) 車両に取付けるハザード延長線(白色)は、取付条件を参考に車両と接続してください。



(2) ハザード延長線(白色)をメインハーネスに接続し、市販のエレクトロタップで車両のハザード 信号線またはターンシグナル(方向指示灯)の左右どちらかの線に接続してください。

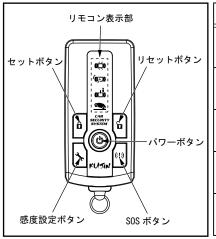


(3) 車載機のハザードスイッチの設定を車両に合わせた設定に切替えてください。



- ・純正キーレスリモコンを操作した際、ハザードが「ロック時1回、アンロック時2回」 または「ロック時2回、アンロック時1回」点滅する車両のみ取付け可能です。(P6参照)
- ・本製品は、純正キーを運転席側ドアの鍵穴に差し(キーレスを使用しないで)、アンロックした際にハザードが点滅する車両では、防犯上、純正キーレス連動配線を行わないでください。

リモコンの各部の名称と機能



名 称	機能
セットボタン	警戒モードの設定やリモコンの 登録に使用します。
リセットボタン	警戒モードの解除やリモコンの 登録に使用します。
感度設定ボタン	空圧センサの感度調整やリモコンの登録に使用します。
パワーボタン	リモコン電源の ON/OFF に使用し ます。
SOS ボタン	単発音を鳴らせたり、威嚇動作 をさせるときやリモコンの登録 に使用します。

■リモコンの表示と機能

表示	名称	機能
	ドア開表示	空圧センサが、車内の空気圧の変化を検知したときに点滅します。
	衝撃表示	3 軸性のデジタルセンサ (衝撃センサ) が、車高 (Z) 方向の揺れを検知したときに点滅します。
(C)	車内侵入表示	超音波センサが、人体や物体の動きを検知したときに点滅します。
	傾斜異常表示	3 軸性のデジタルセンサ(傾斜センサ)が、車幅(X)方向または車長(Y)方向の揺れを検知したときに点滅します。

作動確認

A 注音

- ・輪止めなどにより、車両が動かないようにしてください。
- ・エンジン停止中に長時間作動させると、バッテリー上がりになるおそれがありますので注意してください。
- ・動作確認時は周囲の迷惑にならないよう、サイレンの音には十分に注意してください。
- ■以下の(1)~(3)の作業を行って、作動が確認できる状態にしてください。
- (1) バッテリーの (-) 端子を接続してください。 →警戒ランプが 30 秒間全点灯します。
- (2) 30 秒後に警戒ランプが全消灯したら作動可能となります。

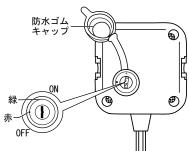
30 秒間は、すべての操作はできません。

(3) サイレン後部の ON/OFF キースイッチをサイレン用カギで ON の位置(緑色マーク位置)にしてください。

- △注意 -

- サイレン後部にあるゴムキャップの閉め 忘れに注意してください。サビや水入り の原因となります。
- 無理にサイレン用カギを回さないでください。カギが折れるおそれがあります。
- (4) リモコンの絶縁シートを抜いた後、パワーボ タンを「ピッ」と音が鳴るまで長押しして電 源を入れてください。電源が入ると、LED が 全点灯して消えます。







■以下の1.~8.項目を手順に従って正常に作動することを確認してください。

1 ■ 警戒モード設定確認 (リモコン)

リモコンのセットボタンを1秒間押してください。

V

リモコンから「ピッ」とボタン操作音がします。

₩

サイレンが「ビッ」と1回鳴ります。

V

リモコンから「ピピッ」と音がします。

 $\overline{\mathbf{V}}$

警戒ランプがゆっくり全点滅します。

V

約20秒後に警戒ランプの点滅パターンが切り替わります。

 Ψ

警戒モード設定完了





警戒モード解除確認(リモコン)

リモコンのリセットボタンを1秒間押してください。

V

リモコンから「ピッ」とボタン操作音がします。

<u>V</u>

サイレンが「ビビッ」と2回鳴ります。

 $\overline{\mathbf{W}}$

リモコンから「ピピッ」と音がします。

 Ψ

警戒ランプが消灯します。

V

警戒モード解除完了





警戒モード設定確認(純正キーレス連動)

※ハザードランプハーネス 接続時のみ対応

車両純正キーレスでドアロックしてください。

V

ハザードランプが1回(または2回)点滅します。

V

サイレンが「ビッ」と1回鳴ります。

V

警戒ランプがゆっくり全点滅します。

V

約20秒後に警戒ランプの点滅パターンが切り替わります。

V

警戒モード設定完了

※設定できない場合は、車載機のハザード切替スイッチが 車両に合った設定になっているか確認してください。(P6参照)





4 警戒モード解除確認(純正キーレス連動)

※ハザードランプハーネス 接続時のみ対応

車両純正キーレスでアンロックしてください。

v

ハザードランプが2回(または1回)点滅します。

٧V

サイレンが「ビビッ」と2回鳴ります。

٧V

警戒ランプが消灯します。

 $\mathbf{\Psi}$

警戒モード解除完了

※解除できない場合は、車載機のハザード切替スイッチが 車両に合った設定になっているか確認してください。(P6参照)





緊急 SOS 機能作動確認

(1) 単発音機能

リモコンの SOS ボタンを 1 秒間長押ししてください。



リモコンから「ピッ」とボタン操作音がしたら SOS ボタンを離してください。



- ・サイレンが「ビッ」と1回鳴ります。
- ・警報ランプが1回全点滅します。

(2) 緊急 SOS 機能

リモコンの SOS ボタンを 3 秒以上押してください。



リモコンから「ピピー」とボタン操作音がします。



約30秒間サイレンが鳴り、警戒ランプが全点滅し続けます。



(3) 緊急 SOS 機能の停止

とボタン操作音がします。

もう一度 SOS ボタンを 1 秒間長押しして離すか、3 秒以上押してください。



3 秒以上長押しにて、リモコンから「ピピー」





警報動作が停止されます。

. ╚アドバイス ———

IGキーを ACC にすることにより警報作動が停止できます。

検知・警報作動確認

(1) 警報動作の停止

リモコンのリセットボタンを1秒間長押ししてください。



リモコンの「ピピッ」という音とともに各異常表示アイコン が消灯します。



- ₾アドバイス 🗕

SOS ボタンを 1 秒間長押しして離すか、3 秒以上押すと、サイレンと警戒ランプのみ停止となり再度警戒設定となります。

(2) 衝撃検知

警戒モードに設定してください。



車体(ガラス)に衝撃を加えてください。



〈弱い衝撃〉

- ・サイレンが1回「ビーッ」と鳴ります。
- 警戒ランプが1回全点滅します。

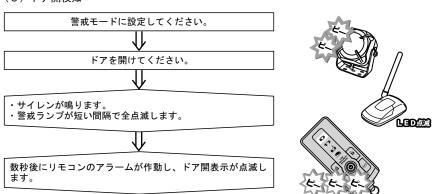
〈強い衝撃〉

- サイレンが鳴ります。
- ・警戒ランプが短い間隔で全点滅します。
- ・数秒後にリモコンのアラームが作動し、衝撃表示が点滅し ます。

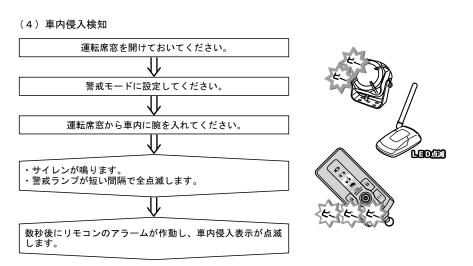




(3) ドア開検知



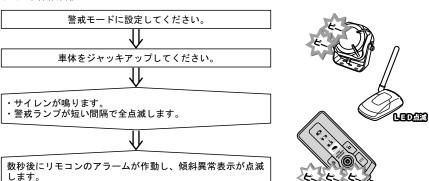
※ドアをゆっくり開けたり、押し開けた場合は反応しないことがあります。



- 曾アドバイス 🗕

車内に腕を入れただけでは反応しないことがあります。腕を入れて動かして反応させてください。

(5) 車体傾斜検知



7 配線の断線検知確認

(1) メインハーネス (12P)

車載機のメインハーネス (12P) をはずしてください。

 \bigvee

サイレンが鳴ります。

(2) アンテナユニットハーネス (4P)

車載機のアンテナユニットハーネス(4P)をはずしてください。



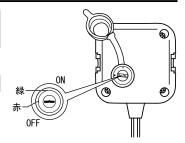
サイレンが鳴ります。

サイレン後部 ON/OFF キースイッチの作動確認

警報中にサイレン後部のサイレン用カギをOFFの位置(赤マーク位置)にしてください。



サイレンが停止します。



- ₾アドバイス 🗕

サイレン後部にあるゴムキャップの閉め忘れに注意してください。サビや水入りの原因となります。

取付け完了後の点検

配線や取付けに異常がないか点検してください。

-- ▲注意 -

- ・車両ハーネスおよび KUJIN の各ハーネスを無理に押したり、引っ張ったり、噛み込んだり していないか点検してください。
- ・バンドクランプのはずれや部品の締め付け忘れはないか確認してください。

復元作業

取りはずした部品を元通りに復元してください。

最終確認

- (1) 取付けに際して取りはずした部品が元通りに取付けられているか確認してください。
- (2) 車両部品の作動点検を行ってください。

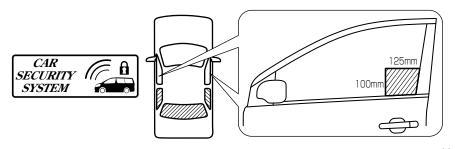
ステッカーの貼り付け

- / 注意 -

- ・ステッカーはお客様に貼っていただくため、必ずお客様にお渡しください。
- ・お客様にステッカーをお渡しする際、以下のステッカー貼付位置に関する注意事項をお伝えください。
- (1) ステッカー貼付位置は、下図の斜線で示すウインドガラスの任意の位置に貼り付けてください。

∧注章

- ・ステッカーは、フロントガラスには貼らないでください。
- ・ステッカーを貼り付ける位置のウインドガラスのゴミ、ホコリ、油汚れなどを取り除いて ください。
- ・貼付位置は、リヤワイパーを避け、向きに注意して貼り付けてください。

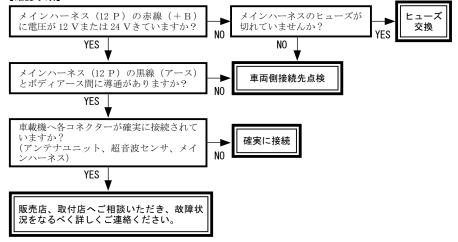


トラブルシュート

症状

本製品装着後初めて電源を接続した際 [取付け時に外したバッテリーの (-) 端子を接続した際] 警戒ランプが 30 秒間点灯しない

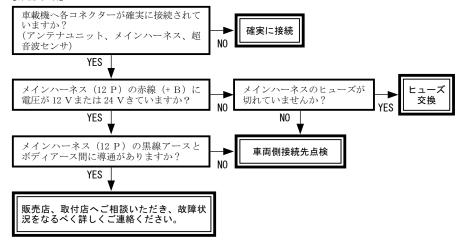
【確認手順】



症状

サイレン後部のキースイッチを ON にした際サイレンが鳴る

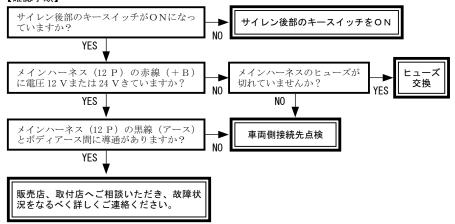
【確認手順】





警戒モードにして動作確認した際サイレンが鳴らない

【確認手順】



症状

リモコンのパワーボタンを長押しして電源を ON にした際 LED 点滅表示がされない

【確認手順】

